

横浜市経済局
市民経済労働部
雇用労働課 御中

横浜市技能文化会館 平成29年度事業計画

平成29年3月
指定管理者(株)キャリアライズ

はじめに

平成29年度は、私ども株式会社キャリアライズが指定管理者となり、2期目、通算7年目となります。引き続き

- ・設立以来の「時間・歴史」とその「意味」を今と未来につなげていく場
- ・地域・地元とつながり、人のエネルギーが広がる場
- ・環境・時代の変化を取り入れ進化していく場

を目指して業務に携わってまいります。

特に、前期中にご指摘いただいた事項や日頃から頂戴する「お客様の声」「関係者からの要望」等をより実現に近づけていくため、引き続き働くスタッフの総合力でより良い会館運営、更なる業務改善に取り組んでまいります。

平成29年度の事業計画は、

- ・前期第三者評価および当期選定時においてのご指摘事項の理解と改善にむけての取組
- ・「技文」「横浜しごと支援センター」の更なるブランド力強化
- ・各事業（貸室・しごと支援・自主事業）のさらなる連携強化

を中心に、「技文」および「横浜しごと支援センター」が一層、利用者に支持されるよう努力していきたくと考えています。

設置30年を超えて建物・設備の老朽化が目立ってきていますが、横浜市技能文化会館の指定管理者という重責を担えることに心から感謝し、当会館が「つなげる・拡がる・進化する」コミュニティーの拠点であるよう、尽力してまいります。

それには、行政・関係者、地域・利用者、私どもが三位一体となり、共に歩んでまいりたいと思います。皆様には、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、当社サービスへの叱咤激励の材料として、本計画書をご活用いただければ有難く存じます。

平成29年3月 横浜市技能文化会館
館長 山口亜紀
指定管理者：株式会社キャリアライズ

指定管理期間における運営の基本的な考え方について

次の基本方針に則り、会館運営を行ってまいります。

<拠点としての機能>

1. 横浜市の「技能職振興の拠点」

人で賑わう場として、技能職同士の交流と市民への技能文化の発信を強化

2. 横浜市の「雇用・就労支援の機能」

働く人の情報源として、情報・相談窓口の専門性を発揮

3. 勤労福祉の拠点

市民に愛される場として、勤労者の福祉増進・文化向上の拠点機能を発揮

<運営姿勢>

1. 安全・安心・快適

公共施設として、維持管理を徹底し、多くの方に訪れて頂ける環境を提供

2. 良質とコストダウンの両立

創意工夫による経費縮減に努め、良質とコストダウンの双方を実現

3. 平等・公平・法令遵守

行政の代行者として、平等・公平な利用の確保と法令遵守の徹底

参考) マネジメント方針および社内研修計画

<マネジメント方針>

・チームワークの重視

当社内のチームワーク及びお客さま（利用者、パートナーなど）、行政（市、関係機関など）とのチームワークを重視する。

・3方バランスの原則

3方（利用者、行政、当社）の各メリットのバランスを考える。

・サービス品質の継続的向上

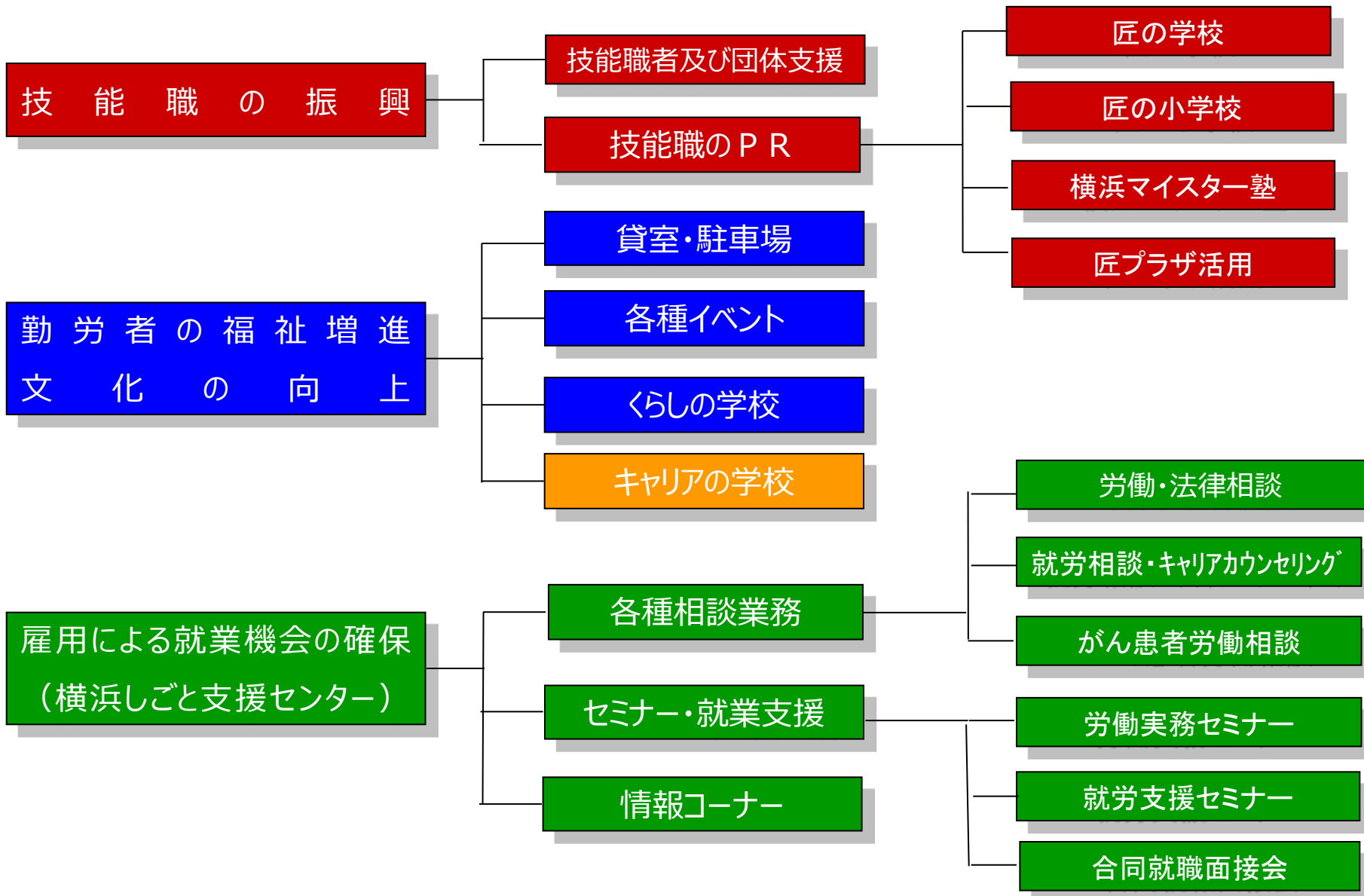
問題・課題および不（不備、不具合、不平、不満など）に常に向き合い、改善・改良を図る姿勢を継続する。

<社内研修の定例実施>

組織と個人の能力向上を目指し、月1回の休館日を研修日として活用する。

- ・人権尊重、法令遵守、緊急時対応力強化、対人対応力・サービス品質向上、チームワーク力向上、ビジネススキル向上を努めるべく、定期的に社内研修を実施。一人一人の意識およびマナー向上により安心、安全、信頼の施設運営に繋げていく。
- ・館内の整理整頓に努め、清潔、効率、安全による顧客満足の向上を目指す。

参考) 会館の機能一覧



平成29年度の運営体制

横浜市技能文化会館

(株)キャリアライズ本社

施設管理業務全般支援
契約管理・法務実務・経理業務

館長	包括責任者、組織マネジメント、人材育成
施設運営担当	施設利用予約・受付、利用者対応
施設管理担当	保守管理、環境維持管理
事業担当	技能職振興、自主事業企画
業務効率化担当	行政・キャリアライズ本社窓口、事務担当

業務委託

- 【建物管理】三菱ビルテクノサービス（株）
- 【警備業務】エーエフマネジメント（株）
- 【機械警備】京浜警備保障（株）
- 【エレベータ】横浜エレベータ（株）
- 【自動ドア】（株）神奈川ナブコ
- 【駐車場精算機】三菱プレジジョン（株）
- 【事務委託】（公財）横浜市シルバー人材センター
（駐車場・ホール設営・夜間事務）

※第三者委託については、添付の協議書を参照

横浜しごと支援センター

相談コーナー

社会保険労務士
就業相談員
キャリアカウンセラー
神奈川県弁護士会

情報コーナー

平成29年度基本方針について

1. 技能職振興

- ①後継者育成支援（小学生向け職業体験など） ②匠プラザの活用
- ③技能職交流室の管理・運営 ④技能職に関する商業市場拡大への貢献と広報強化

2. 雇用による就業の機会の確保

- ①「横浜しごと支援センター」の更なる認知度向上に向けた広報力強化
- ②神奈川県労働局、ハローワーク、横浜市、各就労支援機関などとの連携強化
- ③質の高い相談業務と対応力強化

3. 勤労福祉の増進および文化の向上

- ①キャリアの学校、くらしの学校の更なるブランド力強化と新規利用者開拓
- ②講座、会館イベントを通じた市民同士の交流醸成と市民の活動支援
- ③販売事業の定着と拡大

4. 施設の運営

- ①スタッフ対応力向上による利用者満足の向上 ②貸室利用率の維持・拡大
- ③貸室利用料金改定の検討・準備 ④非常時の運営力強化

5. 施設の管理

- ①法令遵守 ②迅速、的確な設備補修 ③省エネ（エネルギーの適正管理）
- ④附帯設備、備品および消耗品の適切な保守・管理
- ⑤快適な環境維持管理の促進 ⑥館内セキュリティー向上の継続

6. 広報・PRの強化による認知度向上

- ①ホームページおよびWeb広報の拡大による認知度向上
- ②広報連携先の拡大

技能職振興に関する業務

<重点取組>

1.若年層向け「匠の小学校」のブランド力強化と、ものづくり体験の継続

「夏休みは技文で「匠の小学校」を合言葉に、横浜の子ども達に良質なものづくり体験の場を提供していく。

2.大人向け「匠の学校」「横浜マイスター塾」開催の拡大

①良質なものづくりの場として、「匠の学校」「横浜マイスター塾」の継続開催と拡大。

②ものづくり体験や豊かな知識を習得できる「大人の学び場」とした新規取組を提案し、実現していく。

3.匠プラザの活性化

①匠の学校、匠の小学校、横浜マイスター塾を開催し、匠プラザを活用する。
技能職者に関する情報提供の充実を図る。

②訪れやすい匠プラザとなるよう、来訪者が愉しめる「会館の顔」づくりを促進する。

4.技能職イベントへの協力

①新たな連携先の提案を行い、「よこはま技能まつり」の集客強化を積極的に行う。
好評いただいたステージ出演協力等、新規来場者誘導に繋げ、まつりを盛上げていく。

②横浜マイスターに関するイベント協力を積極的に行う。

5.商業市場の創出・広報力強化

①技能職紹介冊子を製作し、横浜の技能のブランド力強化を提案する。

②技能職者と連携し、「技文市」オリジナル商品の創出や受注販売など商品力の強化。

③会館の小規模修繕など、技能職団体への見積依頼や発注の機会を創出する。

雇用による就業の機会の確保に関する業務（横浜しごと支援センター）

＜重点取組＞

1. 質の高い相談業務を継続

- ① 神奈川労働局や横浜市と相談事例の共有・意見交換を行い、より良質な相談業務を遂行する。
- ② 相談員同士（法律相談除く）の情報共有、相互研鑽により対応力の強化に努める。

2. 「利用しやすい相談機関」としてアピール強化

- ① 就業相談員による各種就労支援セミナー、労働相談員による労働実務セミナーを定期的に実施、頼れる機関としての存在感を示す。参加者の声をWeb掲載し、身近な相談機関としてアピール強化を図る。
- ② がん患者のための相談窓口の継続設置。
- ③ ハローワークを軸とした関係機関にタイムリーな情報提供、チラシ配架を行う。利用しやすい機関として積極的に案内してもらえる関係性維持に努める。

3. 公的訓練制度の情報提供の更なる充実を図る

情報コーナー内の「早期就職を目指そう！職業訓練のご案内」コーナーの充実を図る。公的訓練制度利用の促進につながるキッカケを提供していく。

4. 合同就職面接会の定期開催を継続

- ① 県内、市内企業の参加による新卒・既卒を含む就業希望者の就業機会の拡大と早期就業のための場を継続して創出していく。
- ② 労働環境を見極めながら、「女性のための合同就職面接会」開催の検討を開始する。

5. 企業向け出張セミナーのトライアル開催

企業が求める内容の調査を進め、新規開催に向けて準備を進める。

勤労者福祉の増進及び文化の向上に関する業務

<重点取組>

1.自主事業「キャリアの学校」の継続開催と拡大

- ①中小企業在勤者スキルアップ、生産性向上のためのメニュー開発を進める。
- ②パソコン教室のメニュー開発、受講環境整備により、受講者増を目指す。
- ③キャリアの学校、パソコン教室合せて年間130講座開催。

2.自主事業「くらしの学校」の継続開催と拡大

- ①オリジナル企画の「発酵」に注力した「味噌づくり」「梅しごと」などのブラッシュアップを図り、リピーター確保、安定的集客と同時に新規利用者を獲得していく。
- ②人気の男の料理教室、スパイス、パンづくりなどの料理教室で、確実なファンづくりを推進し、年間140講座開催1,700名参加を目指す。
- ③陶芸や金継ぎなど、当会館ならではの設備、備品も活用した講座を開催する。
- ④横浜のものづくり企業とのタイアップ講座の継続開催と、新規開拓を行う。
- ⑤市民講師募集を行い、新規企画の創出と貸室利用拡大に努める。

3.販売事業「技文市」の定着と拡大

- ①地域イベントへの参加による認知度向上と地域連携強化を継続。
- ②愉しめる売場づくりに注力し、定期的な模様替えと商品替えを行い、地道なファンづくりを行う。（技能職者商品の受注販売、技文オリジナル商品の導入など）

4.地域連携・貢献の強化

- ①地域連携イベントとして「技文手づくり市」を開催し、事業間の連携強化を図る。
- ②利用者参加型の「技文サポーターズクラブ」の発足準備、活動を開始する。

<重点取組>

1.「顔の見える運営」を促進

- ①貸室受付カウンターにスタッフが常席し、鍵の受け渡しや予約確認、支払といった日常的業務をタイムリーかつ正確に行い、信頼性を高める。
- ②利用報告書および利用者アンケート、日常的な利用者との対話による利用者の声に耳を傾け、より快適な利用環境を創出する。
- ③利用者アンケートにおいて満足度維持・向上（目標90%）を目指す。
- ④独自システム稼働により、正確かつ迅速な事務処理を継続し、安定的なサービスを提供する。

2.貸室利用促進

- ①ホームページやSNSなどの活用で、タイムリーな空室情報を提供し、空室の利用率向上を図り、利用率拡大（前年比増：目標64.4%）を目指す。
- ②ホームページやリーフレットの貸室画像を最新のものに差替え、よりわかりやすい館内案内として活用する。
- ③利用料金の見直し、新規利用者獲得に向けての施策を検討、導入を目指す。
- ④一時利用者の拡大を図り、はまっこカード新規登録、定期利用に繋げていくための親切・丁寧な対応力を強化する。
- ⑤貸室及び共有スペースの美化促進を図り、清潔・安全な環境を提供する。

3.緊急時対応力の向上

- ①緊急連絡先の整備、的確な更新を行い、必要に応じ速やかな調査、報告を行う。
- ②危機管理マニュアルを作成し、適切な運用に努める。

施設の管理

<重点取組>

1. 消防、衛生、建築法規の遵守

2. 老朽設備の適切な更新、補修

三菱ビルテクノサービスとの連携により、建物修繕に関する適切かつ迅速および、より効果的な方策の検討を推進する。

発注にあたっては、見積合わせのうえ、市内中小企業への優先発注に努める。

3. 省エネの推進強化とエネルギーの適正管理

光熱水の運転・点検等に関する記録の分析・検討を行い、運用の改善、省エネ機器の積極的な導入を図り、エネルギーの適正管理に取り組む。

4. 附帯設備、備品および消耗品の適切な保守・管理

① 備品管理台帳の適切な更新を行い、備品の保守・管理を促進する。

② 貸しロッカーの利用を促進し、利用者の利便性とマナー向上の促進を図る。

③ 附帯設備と備品の更新によるサービス向上と充実化を図る。

5. 快適な環境維持管理の促進

定期清掃、館内巡回による清潔・美観チェックを実施し、利用者が快適に過ごせる環境の提供に努める。

6. セキュリティ向上の継続

① 夜間業務担当者との情報共有を強化、円滑な運営に努める。

② 館内巡回強化により、不備や事故を未然に防ぐ努力を行い、安全性の向上を図る。

広報・PR力の更なる強化

<重点取組>

1. 効率良い広報活動の強化

- ①ホームページ改修、SNS（ツイッター、フェイスブック）をタイムリーに活用し、新規利用者（若年）層の開拓に繋げる。
- ②メールマガジンを年間延べ30,000通を配信し、有益な情報提供と、技文を身近に感じてもらえるお便りとして活用する。
- ③メディア（神奈川、読売、朝日新聞、サンケイリビング等）に積極的に情報提供を行う。情報掲載に繋げ、新規利用層拡大を図る。
- ④近隣区への新聞折込チラシおよびチラシの定期配架を継続し、貸室・駐車場、自主事業、横浜しごと支援センターのアピールを行う。認知度向上、来館者数増を狙う。
- ⑤「ハマふれんど」との連携強化を図り、会員のための有益な情報提供を行い、新規利用者を獲得する。
- ⑥地域イベント（よこはま技能まつり、馬車道マルシェ）に参加し、地元力促進を図る。
- ⑦チラシやPOPなど紙資料の自前製作によるタイムリーかつ臨機応変な製作とコスト削減、更なる効率化を推進する。

2. 館内広報の創意工夫

- ①外壁のガラスケース内を定期的に更新し、手づくり感、季節感を表現、愉しめる自主事業の案内を訴求する。
- ②正面入口のモニターや壁面による情報発信を強化し、利用者には有益な情報を提供する。
- ③「ハマの職人」や「マイスター20周年」などの技能職者の映像を常時観賞できる環境を提供し、技能職を身近に感じてもらえる工夫を行う。

平成29年度予算

●収入

(税込、単位:千円)

科目	金額	内訳	
市が支払う経費	125,076	指定管理料	
利用料金収入	貸室	38,500	貸室収入
	駐車場	21,500	駐車場収入
貸館事業小計	60,000		
自主事業収入	会館講座	12,000	講座収入(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)
	イベント	770	イベント収入(匠の小学校等)
	物販	1,900	物販収入(技文市)
	しごと支援	3,400	しごと支援収入(合同面接会等)
会館事業小計	18,070		
その他収入	4,300	テナント共益費、コピー機、公衆電話、貸しロッカー、自動販売機	
収入合計	207,446		

自主事業収入	18,070	
自主事業支出	12,750	
自主事業収支	5,320	

目的外使用許可収入	3,500	自動販売機、物販
目的外使用許可支出	400	自動販売機、携帯電話アンテナ、物販
目的外使用許可収支	3,100	

良質とコストダウンの双方実現を目指す。
 貸館事業収入の維持および自主事業収入拡大
 (目標18,070千円)を目指し、創意工夫による
 経費縮減に努め、バランスと効率の良い運営を行う。

●支出

科目	金額	内訳		
人件費	社員人件費	67,350		
	しごと支援	労働相談員	9,900	特定社会保険労務士
		キャリアカウンセリング	4,040	キャリアカウンセラー
		弁護士会相談員	2,910	弁護士相談員
		しごと支援計	16,850	
人件費計	84,200			
管理費	事務管理費	7,224	本社事務管理費用	
	事業コーディネーター	6,480	本社事業コーディネーター費用	
	事務管理費計	13,704		
	施設管理費	光熱水費	13,800	電気・ガス・水道
		設備管理	24,244	常駐設備管理業務、遠隔監視
		設備保守点検	8,737	電気設備、消防設備、駐車場、シャッター、空調設備の保守
		清掃関連	13,878	日常清掃、定期清掃
		環境衛生管理	2,130	空気環境測定、受水槽清掃、害虫防除等
		機械設備保守	2,750	エレベーター、自動ドア、駐車場精算機保守
		警備業務	3,720	有人警備、夜間機械警備
		修繕費	4,500	施設修繕費用
		施設消耗品	451	施設に関する消耗品(トイレットペーパー、ゴミ袋等)
		施設管理費計	74,210	
	管理費計	87,914		
	会館運営費	事務消耗品	1,300	事務用品
通信運搬費		1,011	電話・インターネット及び運送料	
ネットワーク管理費		726	ネットワークセキュリティ等管理費用	
賃借料		1,610	リース費用(複合機、駐車場精算機)	
旅費交通費		150	社員業務用交通費	
図書費		300	図書購入費用(3F情報コーナー新聞等)	
備品費		1,600	附帯設備等備品購入費用	
事務委託費		受付業務	2,180	夜間受付補助業務委託
		多目的ホール	3,000	多目的ホール設営業務委託
		駐車場管理	5,450	駐車場管理業務委託
事務委託費計	10,630			
事務費計	17,327			
自主事業費	講師謝金	4,000	講座講師謝金(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)	
	材料費	3,200	講座材料費(匠の学校、キャリアの学校、くらしの学校)	
	イベント費	1,300	イベントに関わる費用(匠の小学校等)	
	商品仕入	1,620	物販商品仕入	
	しごと支援	330	しごと支援イベント等の費用	
	自主使用貸室	2,300	会館事業で使用した貸室の費用	
会館事業費計	12,750			
広告費	ホームページ維持費	615	会館ホームページ維持管理費	
	ホームページ制作費	500	会館ホームページ制作費(初年度のみ)	
	印刷費	800	印刷物作成費用(名刺、イベントチラシ等)	
	メディア広報費	2,300	新聞、インターネット等有料広告	
広告費計	4,215			
事務費計	34,292			
会費	140	諸会費(博物館協会、駐車場協会)		
その他の支出	目的外使用料	400	自動販売機、携帯電話アンテナ、物販コーナー	
	雑費	500	採用研修費、印紙税・租税、有線放送等	
	その他の支出計	900		
支出合計	207,446			

平成 29 年 3 月

横浜市長 林 文子 様

株式会社キャリアライズ
代表取締役社長 喜入 深至

横浜市技能文化会館の指定管理に係る
一部業務の平成 29 年度外部委託予定について

横浜市技能文化会館の指定管理に係る一部の業務について、平成 29 年度は次のとおり外部委託したく、横浜市技能文化会館の管理運営に関する基本協定書第 19 条の規定に基づき、協議します。

	業務名	委託先	業務内容	契約方式	備考
1	エレベータ 保守点検業務	横浜エレベータ株式 会社	エレベータ点検	随意契約	
2	会場設営業務	神奈川県シルバー 人材センター連合会	多目的ホールの 設営	随意契約	
3	駐車場管理業務	神奈川県シルバー 人材センター連合会	駐車場の入出庫 管理	随意契約	
4	事務管理業務	神奈川県シルバー 人材センター連合会	貸室の管理、整頓	随意契約	
5	トータルビル管 理サービス業務	三菱電機ビルテクノ サービス株式会社	会館の設備保守全 般	随意契約	公募時の 提案書による
6	有人警備業務	エーエフマネジメン ト株式会社	会館内の警備	随意契約	